

令和 9 (2027) 年度

学 生 募 集 要 項

総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期

受験するみなさんへ

1. この募集要項には、出願手続、面接、入学手続などに関する重要事項が記載されています。入学手続が完了するまで、必ず手元に保管しておいてください。
2. 募集要項のほかに、次の書類もダウンロードできます。
 - ①総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期入学願書
 - ②総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期キャリア計画書
 - ③総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期出願書類提出用宛名ラベル
3. 記載されている日程および選抜方法に変更が生じる場合は随時、本学ホームページでお知らせします。



大妻女子大学

大妻女子大学短期大学部

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）／総合型選抜の選考において重視する項目等 …	1
趣旨／総合型選抜の流れ ……	11
入学者選抜の基本方針／出願要件 ……	12
選考方法 ……	13
募集人員／入試日程 ……	15
出願手続 ……	16
入学願書の記入例と注意事項 ……	20
受験票の発送 ……	21
面接日時発表 ……	22
面接 ……	23
合格発表 ……	24
入学手続 ……	25
よくあるご質問／受験時の宿泊案内 ……	26
キャンパス案内（試験場）／問い合わせ先 ……	27

《以下の内容については、共通ページで確認してください》

本学HP > 入試・入学 > 募集要項

- コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法
- 入学手続時納入金について
- 家政学部食物学科・短期大学部家政科食と栄養コースを受験する方へ
- 入学予定者への課題・プレイスメントテストについて
- 災害により被災した入学志願者に対する特別措置について
- 履修地
- 学校教育法施行規則第150条第7号に該当する方の入学資格審査について
- 高等学校等コード表

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、入学手続から入学までの間および入学後の諸連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。ただし、入学試験実施、合格発表、入学手続の際、在籍（出身）高等学校にいただいた情報を通知することもあります。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応については、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <https://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター（千代田）tel. 03-5275-0404

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) コミュニケーション力を磨き、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っている。
(2) 人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考え、行動していきたいと思っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) 人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
(2) 他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる能力を持っている。

被服学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	選考において重視する項目		1. 知識および技能 (1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能を有している。 (2) 高等学校で履修する、国語、英語、家庭、数学、化学、日本史、世界史、公民などについて内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。 2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 物事を多面的かつ論理的に考察することができる。 (2) 自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 被服について関心があり、その専門知識を身に付けたい意欲がある。 (2) 目標の実現に向けて積極的に取り組み、最後までやり遂げる意欲がある。	
食物学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		食物学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	食物学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能 (1) 専門教育科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2) 読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 2. 思考力・判断力・表現力等 聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 食に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣を身につけている。 (2) 行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。	
		選考において重視する項目	1. 目的意識：食物学科の教育理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲を有していること。 2. 食・自然科学への理解と関心：食への幅広い関心と知識、「化学基礎」、「生物基礎」への理解。 3. コミュニケーション力：自分の考えを的確に伝えることができ、他者の意見を聴く柔軟な姿勢を持っていること。 4. 理科学科の履修（特に化学基礎および生物基礎の成績を評価する）。 5. 部活動や生徒会活動など：高校時の学内外の活動においてブロック大会または全国大会出場（マネージャー含む）した経験、芸術、文化、ボランティアなどにおける活動実績。	

児童学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		児童学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	児童学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
			2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 子どもをめぐる問題に気づき、自分なりの考えを持つことができる。 (2) 他者の考えを理解した上で自分の考えを整理し、論理的に考察し他者に伝えることができる。
			3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで柔軟に他者と関わろうとする態度を有している。 (2) 自分の興味関心を大切にし、そのことを考え続けようとする態度を有している。
		選考において重視する項目	児童学科の理念を理解し、子どもについて強い関心と問題意識を有していることを前提とする。 1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 3. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 例：高校での授業「総合的な探究の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 上記 1～3のいずれかの項目および子どもと関わる活動の体験。	
	児童教育専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
2. 思考力・判断力・表現力等			習得している知識・技能を働かせて、子どもをめぐる問題を見出し、解決の方策を工夫しながら自分なりの考えを持ち、それを他者に分かりやすく表現することができる。	
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度			子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで他者と関わろうとする態度を有し、かつ子どもが自然事象に関わることに向き合おうとする姿勢を持っている。	
	選考において重視する項目	児童学科の理念を理解し、子どもについて強い関心と問題意識を有していることを前提とする。 1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 3. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 例：高校での授業「総合的な探究の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 上記 1～3のいずれかの項目および子どもと関わる活動の体験。		

ライフデザイン学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	(1) 高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「現代の国語（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身に付けている。 (2) 高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けている。
		2. 思考力・判断力・表現力等	生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができ、それを表現できる。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲を持っている。 (2) 家族関係や地域の人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲を持っている。 (3) 生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲を持っている。 (4) 人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲を持っている。
	選考において重視する項目	1. 広く社会に対する関心を持ち、高等学校等での学習に意欲的に取り組んでいること。 2. ライフデザインという学科の理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲を有していること。 3. 以下の項目のうち、1つ以上について自己アピールができること。 ① 学業と両立させた上での学術・文化・芸術・スポーツなどの活動（部活動、稽古事、市民サークル、研究、創作発表、コンクール、競技など）における努力、協働、達成の経験と実績。 ② ボランティア活動など、自主的な活動への継続的参加実績。 ③ 学内外の活動における指導的な役割経験や実績（生徒会活動など）。	

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1) 人間と言葉に関する事象を考察し、自らの判断を下すことができる人。
(2) 自分の知識や意見を表現し、他者と情報を交換することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 人間と言葉に関する未開拓の領域を、主体的に究明しようとする人。

日本文学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 (1) 日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会や日本語の持つ個性と多様性を知ることにより、現代に生きる私たちに必要な知識の習得に努めるとともに、日本語運用能力やプレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持つ人。 (2) 入学までに、現代文、古典の科目を履修し、日本文学史の大きな流れと日本語の特質などについて理解しようとしている人。 2. 思考力・判断力・表現力等 自分とは異なる立場や意見の人々に対する知的寛容さや柔軟性を兼ね備えた判断力と思考力を持ち、それらを基盤として他者に向かって発信できる表現力・コミュニケーション能力を高める意欲を持つ人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 日本文学や日本語の普遍性を理解し、豊かな情操を育成しながら、みずからの心の支えを主体的に得ることで、自立した女性として将来への大きな力を養おうとする目的意識を持つ人。
	選考において重視する項目	1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 4. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。特に「国語」に対する強い関心と努力を評価する。
英語英文学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 英語の4技能 (Speaking, Listening, Reading, Writing) 全般の基礎的な力をそなえ、人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。 2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 高校までの英語学習を通して、人間・言葉・社会に関する事象に問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる人。 (2) 他者の意見を理解し、自身の知識や意見を的確に表現することで、他者と情報を交換することができる人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化のいずれかの領域に関心があり、人間・言葉・社会に関する問題を、主体的に究明しようとする人。
	選考において重視する項目	英語英文学科の特性への十分な理解を前提にして、次の項目のうち、1つ以上。 1. 高等学校等での英語学習に対する関心と努力の足跡（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 2. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 3. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得ならびに正式な評価。 実用英語技能検定試験（英検）2級以上（S-CBT含む）／TEAP225点以上／TOEFL iBT®42点以上／TOEIC®1150点以上*1／TOEIC® S&W 240点以上（IPも可）／TOEIC® L&R 550点以上（IPも可）／IELTS 4.0以上／GTEC検定版 CBTタイプ930点以上。 *1) TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点 6. 海外語学留学・研修への積極的な参加。

コミュニケーション文化学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 (1) 入学後異文化やメディア等について深く学修するために必要となる高等学校卒業相当の基礎的な知識と技能を修得している人。 (2) 高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的な能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる人。 2. 思考力・判断力・表現力等 日常的に新聞、放送メディア、インターネットなどのメディアに接し、国内外の社会の動きに関する知識や情報を積極的に集め、課題を発見した上で、自分の考えを的確に表現できる人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 日本や世界に対する幅広い知的好奇心を持ち、他者と協同して主体的に学ぶことができる人。 (2) 大学を卒業後、修得した知識・技能や能力を積極的に社会で役立てたいという意志を持っている人。
	選考において重視する項目	コミュニケーション文化学科の特性への十分な理解を前提にして、次の項目のうち、1つ以上当てはまることが望ましい。 1. 高等学校等での学習に主体的、意欲的に取り組んだこと。 2. 関心のあるテーマについて探究学習や研究に取り組んだこと。 3. 学術・文化・芸術・スポーツ・海外留学経験などにおける活動実績（部活動、創作発表、コンクール、競技など）。 4. 学内外の活動におけるリーダー的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 5. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 6. 次のいずれかの資格・検定試験の取得ならびに正式な評価。 日本漢字能力検定準 1 級以上（日本漢字能力検定協会）／実用英語技能検定試験（英検）準 2 級以上（S-CBT 含む）／その他の英語資格試験において英検準 2 級レベル相当以上のスコア（TEAP、TOEIC®、TOEIC® S&W（IP も可）、TOEIC® L&R（IP も可）、TOEFL iBT®、IELTS、GTEC 検定版・CBTタイプなど）／実用フランス語技能検定 5 級以上（フランス語教育振興協会）／中国語検定準 4 級以上（日本中国語検定協会）／漢語水平考試（HSK）1 級以上／ドイツ語技能検定 5 級以上（ドイツ語学文学振興会）／ハングル能力検定 5 級以上（ハングル能力検定協会）／韓国語能力試験（TOPIK）1 級以上（韓国教育省）／統計検定 2 級（統計質保証協会）

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1) 大学での修学に必要な、基礎的な学力を有し、社会、環境、情報を理解するための知識及び技能を獲得したい人。
(2) 自らの考えを他者に的確に伝える技能と表現力を有する人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に、社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学び、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 (1) 社会の動きや生活のあり方を理解するための広く深い知識を有し、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を獲得したい人。 (2) 高校での社会科・国語科の科目への関心（履修）に留まらず、日頃から社会問題や情報、文章表現等への高い関心を持ち、積極的に読書や情報収集を行なっている人。 2. 思考力・判断力・表現力等 社会科学やメディアの活用法を学び、社会問題に対する思考と判断力を養い、その帰結としての問題解決への方策を表現する力を獲得したい人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 社会において幅広く活躍するために、大学での学びから得た知見と情報リテラシーを基に、社会の諸事象への関心と分析力、コミュニケーション力を高めることに意欲的な人。
	選考において重視する項目	1. 関心のあるテーマについて自主的な学習・研究を行い成果をあげたこと。 2. 高等学校等での学習（学習意欲、学習への取り組み、成果など）、特に「地理歴史」「公民」に対する強い関心があり努力をしたこと。 3. 学内外の活動（生徒会活動、委員会活動など）において指導的な役割を果たしたこと。 4. ボランティア活動などに自主的・継続的に参加した実績があること。 5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準 2 級以上（S-CBT 含む）／GTEC 検定版・CBTタイプ 680 点以上

社会情報学科 環境デザイン専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	環境デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 (1) 入学後の修学に必要な基礎的な知識を有し、環境を理解するための情報収集能力、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2) 高校での環境に関わる科目（社会科・理科など）の履修に留まらず、日頃から環境への高い関心を持ち、積極的に情報収集を行い、自らの考えを他者に伝える技術と表現力を高めることを心がけている人。 2. 思考力・判断力・表現力等 自然科学や社会科学の視点から環境について複合的に学び、環境問題に対する思考と判断力を養い、問題解決への方策を論理的に表現して、エコライフを実践したいと考えている人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 エコライフを実践するために、社会や自然のしくみを学んで得た知見と環境情報リテラシーを基に、将来、暮らしを中心とする身近な環境を意欲的にデザインしたい人。
	選考において重視する項目	下記のいずれかに該当することが望ましい。 1. 関心のあるテーマについて自主的な学習・研究を行い、成果を上げたこと。 2. 地球環境問題に対する関心とその解決にむけて学ぶ意欲を有していること。 3. 以下の項目のうち1つ以上について、自己アピールができること。 ①学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動（部活動、習い事、研究、創作発表、コンクール、競技など）における努力、協働、達成の経験と実績 ②ボランティア活動など、自主的・継続的に参加した実績 ③学内外の活動における指導的な役割の経験や実績 4. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（S-CBTを含む）／GTEC 検定版・CBTタイプ680点以上
社会情報学科 情報デザイン専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 高等学校で履修する「数学」「情報」「理科」「国語」「英語」「地理歴史」「公民」の複数の科目あるいはそれらと同等レベルの学修内容について幅広く理解し、基礎的な学力を身につけている人。 2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 論理的な思考を深めて総合的に判断できると共に、自ら課題を見だし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて行動できる人。 (2) 自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があつて自ら進んで学習する意欲を備えると共に、ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的かつ継続的に参加した実績を持つ人。
	選考において重視する項目	以下の項目の一つ以上に該当することが望ましい。 1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける顕著な活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技会など）。 2. 高等学校等での学習、特に「情報」「数学」「探究学習」に対して努力し得られた実績（成績、賞、作品等）。 3. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 ITパスポート、基本情報技術者、情報検定（J検）の情報システム試験（1科目以上）、情報活用試験（3級以上）、情報デザイン試験（初級以上）などの資格・検定試験。このほか各種協会が実施するこれらに準ずる情報処理や情報デザインに関する資格・検定試験。 4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 5. ボランティア活動などへの継続的な参加実績。 6. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（S-CBT含む）／GTEC 検定版・CBTタイプ680点以上

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

比較文化学部

比較文化学部比較文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

比較文化学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能 2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 外国語と外国の歴史や文化についての知識（具体的には「国語」「英語」を基本に外国文化と日本文化を比較するための基準となる歴史に関する知識）を持っている。 (2) 基本的な語学力と論の構成力を持っている。 物事を自分で考え、自分の言葉で表現する姿勢がある。 意欲的に多様な人々と協働して学ぶ態度がある。
	選考において重視する項目	1. 比較文化学科の教育理念を理解し、目的意識をもって学びたいという意欲を有していること。 2. 高等学校等での学習、特に「国語」「歴史」および「英語」などの語学に関心を持ち、意欲的に取り組んでいること。 3. 以下に挙げる項目のうち 1 つ以上について自己アピールできること。 ①学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動（部活動、探究型の学習、研究、創作発表、コンクール、競技、留学など）。 ②学内外の活動への参加（生徒会活動、委員会活動、ボランティア活動など）。 ③次のいずれかの資格・検定試験や水準を目安とする語学力。 実用英語技能検定試験（英検）2 級以上（S-CBT 含む）／ TEAP 225 点以上／ TOEFL iBT® 42 点以上／ TOEIC®1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP も可]）*1／ IELTS 4.0 以上／ GTEC 検定版・CBT タイプ 930 点以上 *1) TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点 ④英語以外の言語の資格・検定試験の取得実績（中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、韓国語、ロシア語など）。	

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

データサイエンス学部

データサイエンス学部データサイエンス学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

データサイエンス学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能 2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 高等学校における学習を通じて、「英語」「数学」「情報」「国語」を含む幅広い科目の基礎的学力をバランスよく身に付けている人。 (2) データサイエンスを学ぶ上で必要な「数学」などの科目の基礎的な知識を有する人。 データサイエンスと経済・経営に関する知識に基づいて、物事を論理的かつ多面的に考え、データを分析して課題の解決策を提案する力を身に付けたい人。 社会の抱える課題に関心を持ち、他者と協働し、データを活用してビジネスに積極的に貢献したいという意欲を持つ人。
	選考において重視する項目	1. 関心のあるテーマについて自主的な学習・研究を行い成果をあげたこと。 2. 高等学校等での学習、特に「情報」「数学」に対して努力し得られた実績（成績、賞、作品等）。 3. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 情報活用試験（3 級以上）、統計検定（3 級以上）などの資格・検定試験。 4. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける顕著な活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール競技会など）。 5. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 6. ボランティア活動などに自主的・継続的に参加した実績があること。	

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

人間共生学部

人間共生学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1) 大学での学びに必要な、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。
(2) 人間や社会を理解するための前提となる基本的な知識をもつ人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1) 人間の活動や社会現象に対して幅広く深い興味を持って考えることができる人。
(2) 問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考えることができる人。
(3) 他者の意見を聞き、理解し、その上で自分の意見を表明することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) 積極的に問題解決を図ろうとする人。
(2) 学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持っている人。
(3) 意見や関心が異なる人たちとも協力しながらやり遂げることができる人。

社会学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	社会学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。 1. 知識および技能 (1) 大学の授業全般で必要となる、文章の解読、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の基礎学力を高等学校卒業までに十分身につけている人。 (2) 社会を広く、深く理解する上で必要となる「地理歴史」「公民」の基礎学力を高等学校卒業までに十分身につけている人。 (3) 社会現象をグローバルな観点から関連づけ分析するために必要な「外国語」の基礎学力を高等学校卒業までに十分身につけている人。 2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 社会で生きる人々の生のさまざまなあり方や社会現象に幅広く興味関心をもち、深く掘り下げて考える人。 (2) 社会問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考察できる人。 (3) 自分以外のさまざまな人の意見を丁寧に聞き、理解し、その上で自分の意見を表明することができる人。 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 目の前で起きていることから社会問題まで、積極的に問題解決を図ろうとする人。 (2) 学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持っている人。 (3) 意見や関心が異なる人たちとも協力しながら、自らの課題をやり遂げることができる人。
	選考において重視する項目	社会学科の特性への十分な理解を前提にして、以下の項目のうち、1つ以上当てはまることが望ましい。 1. オープンキャンパスで行われる社会学科の体験授業に参加し、課題を提出している。 2. 本学科の教育理念、および学習内容をよく理解するために、今年度のオープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員からの説明を受けていること。 3. 社会学に対する強い関心と学ぶ意欲を持っていること。 4. 学術・文化・芸術・スポーツ・ボランティアなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 5. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 6. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）2 級以上（S-CBT 含む）／ TEAP 225 点以上／ TOEFL iBT® 42 点以上／ TOEIC® 1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP も可]）*1 / IELTS 4.0 以上 / GTEC 検定版・CBT タイプ 930 点以上 *1) TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点

心理学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	心理学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
		1. 知識および技能	(1) 心理学の専門的知識と技能を学ぶために必要となる、高等学校卒業相当の知識と基礎学力を幅広く身につけている人。 (2) 高校までの履修内容のうち、文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力と外国語の基礎力を身につけている人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 社会の様々な問題について、数学（特に統計に関する知識および技能）を用いて科学的に分析・解明していく判断力や論理的思考力を身につけている人。 (2) グループ学習や課外活動、ボランティア活動の経験があり、集団や組織の中で自分の意見を的確に表現する力と、多様な人間および社会の中で協力して課題に取り組むことができる人。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間や社会に対して広く深い興味関心を持ち、心理学の専門的知識・技能を生かして共生社会の実現に貢献したいという意欲を持っている人。
心理学科	選考において重視する項目	心理学科の特性への十分な理解を前提にして、以下の項目のうち、1つ以上当てはまることが望ましい。 1. オープンキャンパスで行われる心理学科の体験授業に参加し、課題を提出している。 2. 本学科の教育理念、および学習内容をよく理解するために、今年度のオープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員からの説明を受けていること。 3. 心理学に対する強い関心と学ぶ意欲を持っていること。 4. 他者の意見・質問を的確に理解し、自分の考えを論理的に伝えられること。 5. グループ学習で求められる基本的な協調性や責任感を持っていること。 6. 学術・文化・芸術・スポーツ・ボランティアなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 7. 次のいずれかの資格・検定試験およびそれに相当する他の英語能力資格の取得。 実用英語技能検定試験（英検）2 級以上（S-CBT 含む）／ TEAP 225 点以上／ TOEFL iBT® 42 点以上／ TOEIC®1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP 也可]）*1 / IELTS 4.0 以上／ GTEC 検定版・CBT タイプ 930 点以上 *1) TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点	
福祉学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
		1. 知識および技能	(1) 大学の授業で必要な、高等学校卒業相当の「国語」、「英語」の学力がある人。 (2) 福祉を学ぶ上で、高等学校卒業相当の「公共」の学力がある人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 文章での表現力、読解力および記述力を持つことができる人。 (2) 他者の意見を聞き理解し自分の意見を表明することができる人。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 福祉に関する問題について深い関心を持ち、解決に向けて取り組む意欲を持つことができる人。 (2) 学校での学習や課外活動等において、他者と協力しながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる人。
福祉学科	選考において重視する項目	福祉学科の特性への十分な理解を前提にして、以下の項目のうち、1つ以上当てはまることが望ましい。 1. オープンキャンパスで行われる福祉学科の体験授業に参加し、課題を提出している。 2. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 3. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 4. 学内外の活動実績と役割（生徒会活動、委員会活動など）。 5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準 2 級以上（S-CBT 含む）／ GTEC 検定版・CBT タイプ 680 点以上 6. 本学科の教育理念、および、学習内容の理解のため、今年度のオープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員から説明を受けていること。 7. 福祉学に対する強い関心と学ぶ意欲を持っていること。	

共生デザイン学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	共生デザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
		1. 知識および技能	(1) 大学での学びに必要な、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。 (2) 高等学校までの学習や諸活動を通じて、コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 人間や社会の多様性、多様性を背景とした国内外の課題に対して興味を持ち、問題の要因や背景を考える姿勢をもっている人。 (2) 他者と積極的にコミュニケーションを取り、相手の視点や考えを理解・尊重し、その上で自分の意見を言語や文章で適切に表現することができる人。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	自分とは異なる背景を持つ人々や社会のあり方に関心を持ち、誰もが暮らしやすい社会、働きやすい職場作りに貢献したいという意欲をもつ人。
共生デザイン学科	選考において重視する項目	共生デザイン学科の特性への十分な理解を前提にして、以下の項目のうち、1 つ以上当てはまることが望ましい。	
		1. オープンキャンパスで行われる共生デザイン学科の体験授業に参加し、課題を提出している。 2. 共生デザイン学科が独自に行っている企画に参加し、課題を提出している。 3. 学術・文化・芸術・スポーツ・ボランティアなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 4. オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員からの説明を受けていること。 5. 次のいずれかの資格・検定試験およびそれに相当するほかの英語能力資格の取得。 実用英語技能検定試験（英検）2 級以上（S-CBT含む）／ TEAP225 点以上／ TOEFL iBT®42 点以上／ TOEIC®1150 点以上 (TOEIC®L&R550 点以上かつ TOEIC®S&W240 点以上 [IP も可])*1 ／ IELTS4.0 以上／ GTEC 検定版・CBT タイプ 930 点以上 *1)TOEIC®S&W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC®L&R のスコアと合算した合計点。	

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1) 高校の学習で各コースが指定した科目において基礎学力および技能を身につけている。
(2) 短期大学部の授業が理解できる一定以上の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。
2. [思考力・判断力・表現力等] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲を持ち、そのための課題に積極的に取り組むことができる。

家政科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	家政総合 コース	アドミッション・ ポリシー (入学者の受入れ に関する方針)	1. 知識および技能	高校での学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など、入学後の修学に必要な、基礎知識と技能を有し、さらに、資格取得や課外活動など、高校時代に充実した日常生活を送ることができた人。
			2. 思考力・判断力・ 表現力等	物事を多面的・論理的に、考察と判断ができ、自分の考えを、他者に的確に表現し、伝えることのできるコミュニケーション能力を持ち、さらに、他者の考えを、柔軟に受け入れ、理解する、協調性を有している人。
			3. 主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度	生活の基盤である衣、食、住などの学習の他、家政総合コースでの学習に深い関心があり、主体的・積極的に取り組む態度を有し、得られた知識と資格などの専門性を、将来の生活や就職、社会貢献に役立てる意欲のある人。
		選考において 重視する項目	1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 3. 高等学校での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 例：高校での授業「総合的な探究の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 4. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 5. 資格・検定試験の取得実績（食物調理技術検定／被服製作技術検定／実用英語技能検定（英検）（S-CBT含む）または他の英語能力資格／日本漢字能力検定／全商ビジネス文書実務検定など）。	
	食と栄養 コース	アドミッション・ ポリシー (入学者の受入れ に関する方針)	1. 知識および技能	(1) 専門教育科目を学ぶために必要な「家庭」、「化学」、「生物」などの基礎的な内容を理解している。 (2) 読解力や語学力の基礎となる「国語」を通して、聞く、話す、読む、書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。また、実務的な計算能力がある。
			2. 思考力・判断力・ 表現力等	健康や食生活に関する問題について、知識や情報を基に論理的に考察し、判断したり、行動したりすることができる。
			3. 主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度	健康・食生活に対する強い関心を持ち、将来、食を通じて人々の健康に貢献したいという意欲がある。学修課題に積極的に取り組み、主体的に学ぶことができる。
			選考において 重視する項目	1. 食と栄養コースの教育理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲。 2. 健康や食生活について、幅広い関心や問題意識をもち、積極的に学ぶ姿勢。 3. 高等学校での学習について（学習意欲や学習への取り組み、成果など）。 4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会など）。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）は本学ホームページ（<https://www.otsuma.ac.jp/>）をご参照ください。

趣旨

総合型選抜（自己推薦型）は、能力・特技・資格や個性・学習意欲などを中心とした総合的・多面的な人物評価を慎重に行い、本学創立の精神、理想、学風にふさわしい学生を選抜しようとするところにあります。

本学への入学を第一希望とし、本学の教育方針・教育内容を十分に理解するとともに、勉学意欲が高く、入学後の学生生活の夢や将来の目標が明確であり、そのことを自分自身で説得的に表明できる者に入学の機会を提供することを目的とします。

こうして、一般選抜や学校推薦型選抜では判断し得ないさまざまな資質や能力や活動を、総合的に判断し、思考力、構想力、創造力にあふれた情熱と意欲ある人材を積極的に迎えようとするものであります。

総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期の流れ

① 大妻を知る

オープンキャンパスなどに参加し、志望学科・専攻・コースへの理解を深めてください。

② 総合型選抜学生募集要項・出願書類をWebからダウンロードし、出願書類を作成する

第一志望の学科・専攻・コースが決まったら、出願書類を作成しましょう。

③ 出願手続（16 ページ）

出願書類を揃え、郵送で提出してください。

④ 受験票を受け取る（21 ページ）

志願者宛に受験票が届きます。受験学科・専攻・コースなど記載事項を確認してください。

⑤ 面接日時確認（22 ページ）

Webで面接日時等を確認してください。

⑥ 面接（23 ページ）

複数の面接担当者と約 30 分間の個人面接を行います。

⑦ 合格発表→入学手続（24、25 ページ）

Webで合否を確認してください。

入学手続時納入金を納入し、入学手続を完了させてください。

入学者選抜の基本方針

提出された書類に基づく詳細な審査および小論文試験や時間をかけた面接等により、志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価する。

出願要件

以下の各要件を満たしている女子

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校等を令和9年3月卒業見込みの者または卒業後5年以内（令和3年9月以降の卒業）の者
- (2) 本学の教育目的や理念を具現するにふさわしい旺盛な学習意欲と問題意識を有し、かつ創造性・行動力などの能力と資質を有する者で、本学を第一志望として入学を志す者
- (3) 本学の学修・教育環境を積極的に活用し、志望理由としてあげた自己の目標や構想を実現するに十分な意欲と能力を有する者

※出願要件(1)については以下の者も含みます。

- ・通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月修了見込みの者および修了後5年以内の者
- ・学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込み者で令和9年3月31日までに18歳以上かつ23歳以下の者

本学では、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として入学資格認定を必要とする方について、個別の入学資格審査を行います。学校教育法施行規則第150条第7号の規定による個別の入学資格審査を希望する方は、**次の申請期間前**に広報・入試センター（千代田）に必ず連絡してください。

この手続が必要な方は、**出身学校の高等学校等コードが「54000F」の方**です。このコード以外の方はこの手続は必要ありません。

詳細は 共通 ページで確認してください。

【申請期間(郵送必着)】

令和8年9月4日(金)～9月18日(金)

選考方法

- (1) 出願書類（総合型選抜キャリア計画書、調査書等）、面接を総合して可否を判定します。
- (2) 面接は、複数の面接担当者で個人面接を行います。時間は1人約30分間です。面接では、志望理由、学科・専攻・コースへの適性、基礎学力などを見ます。

出願・面接時の注意

学部・学科・専攻・コース			出願時・面接時の注意	面接時の作品等の持ち込み
家政学部	被服学科		—	
	食物学科	食物学専攻	プレゼンテーションは面接試験の中で行います。5分以内で課題についてプレゼンテーションしてください。面接は椅子に座った状態で行います。前にテーブルがありますのでメモやフリップ等をおくことは可能です。配布物、メモの使用などの制限はありませんが、5分以内で分かりやすく説明できるように工夫してください。	○
	児童学科	児童学専攻	—	
		児童教育専攻	—	
	ライフデザイン学科		—	
文学部	日本文学科		「選考において重視する項目」または「自己アピール」に関する資料がある場合、提出可能な資料は全て添付してください。また、面接時に実演（パフォーマンス）や作品等の持ち込みをすることについては、相談に応じます。オープンキャンパスの教員による個別相談のコーナーにご相談ください。	○
	英語英文学科		「選考において重視する項目」または「自己アピール」に関する資料がある場合、提出可能な資料は全て添付してください。また、「選考において重視する項目」の5.で指定しているいずれかの資格・検定試験のスコアを有する場合は、「各学科・専攻・コースからの課題」への取り組みを免除します。	
	コミュニケーション文化学科		「選考において重視する項目」に関する資料がある場合、提出可能な資料は全て添付してください。	○
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	作品等の持ち込みに限り許可します（実演は不可）。	○
		環境デザイン専攻	—	
		情報デザイン専攻	専攻からの課題は、面接時にプレゼンテーションをしていただきます。制限時間は5分（時間厳守）です。プレゼンテーション資料の提示は、紙（紙芝居や配布資料など）でもディスプレイ（持ち込みのPCやタブレット使用）でも構いません。当日の配布資料がある場合は2部持参してください。また、出願者のデジタル作品（プログラム、Webサイト、CG、コンテスト応募等）がある場合、試験日に持参し、面接官に提示することが可能です。提示を希望する出願者は、作品の説明（概要、特徴、展示・受賞の有無（有の場合は、具体的に記載））をA4用紙にまとめ、出願書類に添付してください。なお、プレゼンテーション・作品紹介共に貸出し用の端末や電源、通信回線（Wi-Fi等）の提供はありません。	○
比較文化学部	比較文化学科		—	
データサイエンス学部	データサイエンス学科		面接時に課題について、プレゼンテーションをしていただきます。制限時間は5分です。配布物（例：パワーポイントなどで作成した資料）、メモなどの使用の制限はありませんが、時間内でわかりやすく説明できるように工夫してください。質問などがある場合は、事前にオープンキャンパスで教員にご相談ください。	
人間共生学部	社会学科		オープンキャンパス・ミニオープンキャンパス以外で教員の説明を受けることを希望する場合は、大学ホームページの「個別相談・キャンパス見学」から申し込んでください。ご不明点等ございましたら、多摩校教育支援・学事グループ（tel.042-372-9970）までご連絡ください。	
	心理学科			
	福祉学科			
	共生デザイン学科	レポート課題方式	探究学習 プレゼン方式	プレゼンテーションは面接試験の冒頭に行います。5分程度で高校での探究学習活動における学びや経験についてプレゼンテーションしてください。配布物、メモの使用などの制限はありませんが、5分程度で分かりやすく説明できるように工夫してください。配布物がある場合には、受験生手元用1部に加え、面接試験担当者用2部の計3部持参してください。オープンキャンパス・ミニオープンキャンパス以外で教員の説明を受けることを希望する場合は、大学ホームページの「個別相談・キャンパス見学」から申し込んでください。ご不明点等ございましたら、多摩校教育支援・学事グループ（tel.042-372-9970）までご連絡ください。
短期大学部	家政科	家政総合コース	—	
		食と栄養コース	—	

★面接会場に無料 Wi-Fi、制作物を貼り付ける場所やスライドを投影する機器はありませんのでご注意ください。

面接

学部・学科・専攻・コース			面接		
			口頭 試問	プレゼン	内容
家政学部	被服学科		○		被服分野に関する知識の質問を含む
	食物学科	食物学専攻	○	○	食への幅広い関心と知識、化学基礎、生物基礎への理解、コミュニケーション能力を問う 学科課題に関するプレゼンテーション（5分以内）を含む
	児童学科	児童学専攻	○		事前に提出いただいた書類の内容に即した質問を行う
		児童教育専攻	○		事前に提出いただいた書類の内容に即した質問を行う
	ライフデザイン学科		○		生活の諸問題や時事に関する質問を含む
文学部	日本文学科		○		日本の文学、語学、文化、歴史についての基礎知識等を問う(高等学校国語科の内容を含む)
	英語英文学科		○		英語英文学科での学びに関する興味・関心を問う
	コミュニケーション文化学科		○		現代の文化・社会に関する質問を含む
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	○		現代社会、経済、時事に関する質問を含む
		環境デザイン専攻	○		事前に提出された書類にそって、専攻での学びに関する質問を行う
		情報デザイン専攻	○	○	課題についてのプレゼンテーション(5分以内)、質問を含む
比較文化学部	比較文化学科		○		学びたい地域の歴史や文化に関する質問を含む
データサイエンス学部	データサイエンス学科		○	○	課題についてのプレゼンテーション(5分以内)、質問を含む
人間共生学部	社会学科		○		現代社会の諸問題に関する質問を含む
	心理学科		○		心理学への関心に関する質問を含む
	福祉学科		○		本学科で学ぶ動機、キャリア計画、日本の福祉の現状に関する知識及び考えについての質問を含む
	共生デザイン学科	①レポート課題方式	○		学科課題に関する質問を含む
		②探究学習 プレゼン方式	○	○	人間の多様性を背景とした国内外の課題に関する質問を含む 学科課題に関するプレゼンテーション(5分程度)を含む
短期大学部	家政科	家政総合コース	○		衣・食・住生活に関する興味・関心・知識を問う
		食と栄養コース	○		専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する興味・関心・知識を問う

募集人員

大学学部（4 年制）

学部・学科・専攻			Ⅱ期
家政学部	被服学科		3
	食物学科	食物学専攻	2
	児童学科	児童学専攻	2
		児童教育専攻	2
	ライフデザイン学科		5
文学部	日本文学科		5
	英語英文学科		5
	コミュニケーション文化学科		5
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	5
		環境デザイン専攻	5
		情報デザイン専攻	6
比較文化学部	比較文化学科		5
データサイエンス学部	データサイエンス学科		5
人間共生学部	社会学科		4
	心理学科		4
	福祉学科		4
	共生デザイン学科		4

短期大学部（2 年制）

学部・学科・コース			Ⅱ期
短期大学部	家政科	家政総合コース	2
		食と栄養コース	2

●受験者の学力状況により合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

入試日程

出願期間	11 月 9 日(月)～12 月 4 日(金) [郵送必着]			
受験票発送日 (予定)	12 月 8 日(火)			
面接日時発表期間	12 月 10 日(木)～12 月 13 日(日)			
面接日	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 データサイエンス学部 短期大学部	12 月 13 日(日)	人間共生学部	12 月 12 日(土)
試験場	千代田キャンパス		多摩キャンパス	
合格発表日	12 月 18 日(金) 15:00 から			
入学手続期間	12 月 19 日(土)～12 月 24 日(木)			

出願手続

1. 入学検定料納入期間および出願期間

入学検定料納入期間	出願期間（郵送必着）
令和 8 年 10 月 28 日(水)～12 月 4 日(金)	令和 8 年 11 月 9 日(月)～12 月 4 日(金)

2. 入学検定料

35,000円

3. 入学検定料の納入

(1) 「入学願書（A 票）・振込依頼書（B 票）・振込領収書（C 票）」を使用してください。

(2) 納入方法

入学検定料は金融機関またはコンビニエンスストアで納入できます。出願締切に間に合うよう、余裕をもって納入手続をしてください。

【1. 金融機関での納入の場合】

- ① 入学願書 A～C 票に必要事項を記入し、そのまま切り離さずに、金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。**ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATM での納入はできません。**
- ② 振込後に金融機関から A、C 票を受け取り、必ずその場で A、C 各票に「金融機関取扱店収納印」が押印されていることを確認してください。**押印されていないものは無効です。**振込領収書（C 票）は各自で保管してください。

【2. コンビニエンスストアでの納入の場合】

- ① 入学願書 A 票に必要事項を記入してください。B、C 票の記入は不要です。
- ② 「セブンイレブン」、「ローソン」、「ミニストップ」、「ファミリーマート」の各店で納入できます。納入方法の詳細共通ページをよく読み、手続を行ってください。
- ③ コンビニエンスストアで発行される「入学検定料収納証明書」を A 票に貼付し、A 票のみ提出してください。B、C 票は提出不要です。

※コンビニエンスストアでの納入方法についての問い合わせは、下記の Web サイトでご確認ください。
<https://e-shiharai.net/>

4. 出願書類

出願に必要な書類は次のとおりです。

- (1) 総合型選抜入学願書
 - (2) 総合型選抜キャリア計画書
 - (3) 調査書（厳封、開封無効）
 - (4) 「総合型選抜の選考において重視する項目」または「自己アピール」に関する資料
- ※(4)は該当者のみ提出してください。詳しくは 18 ページを参照してください。

<出願書類等の活用方法について>

総合型選抜キャリア計画書、調査書、その他の出願書類等は出願要件の確認のほか、高校等での学習・生活状況等の把握および面接資料として活用します。

(1) 総合型選抜入学願書

記入例（20 ページ）をよく読み、正確に記入してください。

(2) 総合型選抜キャリア計画書

- ① キャリア計画書は、志願学科・専攻・コースが指定する項目を記入し、提出してください。家政学部児童学科は、課題に関する所定用紙が10～13ページにありますので、9ページを確認のうえ記入し提出してください。
- ② 1 ページの写真貼付欄に写真を必ず貼付してください。
- ③ 高等学校等在学中の場合、1 ページの所定の欄に担任の先生または進路指導の先生の署名・押印が必要です。

(3) 調査書

- ① 高等学校等卒業見込みの場合、最終学年第 1 学期末まで、または前期末までの学習成績等が記載されている調査書を提出してください。
- ② ①が発行できない場合は、前年度までの学習成績等と最終学年での履修科目が記載された調査書を提出してください。②に該当する場合、先生にこのページを提示して発行をお願いしてください。
- ③ 下表に該当する方は、それぞれの指示に従ってください。不明な点については広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。

高等学校卒業程度認定試験に合格 または合格見込みの場合	次の書類を提出してください。 ・合格（見込）成績証明書 以下に該当する場合は、次の書類も提出してください。 〈高等学校等に在籍していたことがある場合〉 ・高等学校等の調査書もしくは成績証明書 〈高等学校卒業程度認定試験において免除科目がある場合〉 ・免除科目の単位取得を証明する書類（高等学校等の成績証明書等）
複数の高等学校に在籍した場合	それぞれの学校が発行した調査書を提出してください。ただし、前籍校と合わせた調査書が発行できる場合は 1 通で構いません。その際は必ずそれぞれの学校名と在籍年月（例：20XX年4月～20XX年3月〇〇高等学校）が記載されたものを提出してください。
留学中の単位が認められ国内の高等学校等を卒業する（した）場合	国内高等学校等については調査書を提出し、留学先学校については成績証明書を提出してください。なお、留学先の成績証明書が発行されない場合は、在学している（いた）国内の高等学校等が保管する留学先の成績証明書の写しに学校長の署名・公印が押印されたものを提出してください。
大学に在学していた場合	大学の成績や修了を証明する書類の提出は不要です。 ただし、活動報告に大学在学時のことを記入する場合は、添付資料として成績証明書等の提出を認めます。
調査書等と出願書類で氏名が異なる場合	戸籍抄本など、同一人物であることを証明する書類（個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）を提出してください。 なお、外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。
調査書が発行されない場合（廃校・被災等）	成績証明書など、在学時の活動を示す書類および卒業（修了）証明書を提出してください。

(4) 「総合型選抜の選考において重視する項目」または「自己アピール」に関する資料

「総合型選抜の選考において重視する項目」(1ページ以降)または、キャリア計画書5ページにある「自己アピール」に記入した内容に関する資料がある場合は、資料の添付を認めます。

資料は可能な限りA4サイズに統一し、必ず紙媒体で提出してください。

【例】・段位等の証明書、免許状などの写し

- ・部活動、ボランティア活動等の「活動証明書」や「推薦書」、それに類する書類(所定の用紙・書式等はありません)
- ・賞状、感謝状等の写し
- ・活動に関する新聞記事の切り抜き
- ・作品の写真や、活動状況の写真(A4の用紙に貼付したもの)など

ただし、「総合型選抜の選考において重視する項目」で指定されている資格・検定試験を取得している場合は、各実施機関の発行する証明書類(コピー可)の提出をもって取得を認定します。

■英語の資格・検定試験の証明書類

出願時は、該当の資格・検定試験における英語能力を証明する書類(コピー可・原本証明不要)を提出してください。

①実用英語技能検定試験(英検)[S-CBTを含む]…合格証書、合格証明書(和文)、英検CSEスコア証明書のいずれか

※個人成績表は使用できません。

②GTEC 検定版・CBTタイプ…OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※生徒用帳票(SCORE REPORT)は使用できません。

③TEAP…成績表(OFFICIAL SCORE REPORT)

④TOEFL iBT®…Official Score Reports(公式スコアレポート)、Institutional Score ReportまたはTest Taker Score Report(受験者用控えスコアレポート)

※Home Editionは活用できません。また、TOEFL iBTで活用できるのはTest Dateスコアのみです。My Best®スコアは活用できません。

⑤TOEIC®(L&RおよびS&W)…Official Score Certificate(公式認定証)またはDigital Official Score Certificate(デジタル公式認定証)

⑥IELTS…成績証明書(Test Report Form)、eTRF

●証明書の有効期限について

各英語外部検定試験の実施団体が定める固有の有効期限に関わらず、そのスコア・等級取得日が2024年4月以降であることを成績証明書等で確認できる場合は、その結果を有効なものとし見なします。

TOEIC® and TOEFL iBT® are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

■その他の資格・検定試験の証明書類

出願時は、該当の資格・検定試験における証明する書類(コピー可)を提出してください。

例: 日本漢字能力検定(日本漢字能力検定協会)…合格証書または合格証明書

●証明書の有効期限について

取得年度は問いません。

文学部英語英文学科の「各学科・専攻・コースからの課題」免除に該当する志願者は、キャリア計画書3ページに証明書類を貼付してください。

5. 出願書類の提出

(1) 提出方法

入学検定料を納入後、市販の封筒（角2型）を使用し、必ず郵便局の窓口から**簡易書留速達**で郵送してください。大学窓口での受付はしません。

(2) 注意事項

- ① 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
- ② 複数学科・専攻・コースへの出願はできません。また、出願後の入試種別、学科・専攻・コースの変更はできません。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、速やかにその指示に従ってください。
- ④ 出願後は、出願書類の修正や、資料の追加送付はできません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 入学検定料および出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- ⑦ 出願締切日までに到着しなかった出願書類は受理しません。なお、出願期間前に到着した出願書類は、出願期間開始日まで本学にて保管します。

- (3) 疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、**令和8年11月16日(月)**までに、必ず広報・入試センター入試グループ（千代田）までご相談ください（tel. 03-5275-0404）。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただくことがあります。受験上・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

総合型選抜 家政学部被服学科の志願者の例

令和9年度大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部
総合型選抜(自己推薦型)Ⅱ期入学願書

記入上の注意事項

- (1) 入学願書は、黒ボールペン（摩擦等で消えないインク）で記入し、書き損じた場合でも修正液は使用しないでください。
書き損じた場合は、間違えた箇所に二重線を引き、訂正印を押印のうえ、余白に正しい内容を記入し、訂正してください。
- (2) 氏名は戸籍に記載されているものを記入してください。電算処理において表記できない文字は、受験票、合格通知書等で文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されることがあります。
＜例＞ 吉→吉、土→土、角→角、祐→祐、橋→橋
外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。
- (3) 志望学科等は正確に選択してください。学科・専攻・コースの名称、選択した学科・専攻・コースで取得できる資格等をよく確認してください。
- (4) 高校等コード欄には、「高等学校等コード表」（共通ページ）を参照し、該当する出身高校等のコードを記入してください。高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者、外国の高等学校修了者等は「高等学校等コード表」（その他の出願資格）を参照してください。

受験票の発送

- (1) 12月8日（火）頃に志願者宛に発送します。12月10日（木）午前中までに受験票が届かない場合は、広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。
受験票が届いたら、記載事項に間違いがないかを必ず確認してください。
- (2) 面接当日は受験票を必ず持参してください。

面接日時発表

1. 発表期間

令和8年12月10日(木) 15時 ～ 12月13日(日) 17時

2. 発表の方法

Webによる面接日時照会システムで発表します。

3. 注意事項

- (1) 受験票を用意し、操作をしてください。
- (2) 書面等での通知は一切行いませんので、忘れずに各自で確認し、日時を手元に控えておいてください。
- (3) 電話等による問い合わせには応じません。
- (4) 発表期間以外は利用することができません。

〈操作ガイド〉 【照会 URL】 <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>

照会にあたり、受験番号と誕生日が必要になります。事前に準備しておきましょう。

受験番号

誕生日



Webでの確認方法

※下図はイメージであり、実際の画面とは異なります。

- 1 照会 URL にアクセスする。



- 2 「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。

- 3 受験番号9けた(半角)と、誕生日4けた(半角)を入力する。

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号 (半角9けた)

誕生日 (半角4けた)

※受験番号はハイフンを除いた9けた (半角)

※誕生日が2月8日の場合は『0208』 (半角)

4

面接日時発表

受験番号○○○○○○○○○○の方は、
面接日時が、○月○日午前(午後)○○時○○分です。
面接開始 20 分前までに集合してください。
集合場所は、○○○キャンパスです。

利用できる機器等について

1. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
2. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
3. パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

面接

1. 集合時間

千代田キャンパス、多摩キャンパスともに午前 8 時に試験場を開場します。

面接	面接日時照会システムで指定された面接日時の20分前までに集合してください。
----	---------------------------------------

2. 集合場所

学部	集合場所	所在地・当日連絡先
家政・文・社会情報・ 比較文化・データサイエンス・ 短期大学部	千代田キャンパス（27ページ参照） 本館 E 棟入口	東京都千代田区三番町 12 番地 広報・入試センター tel. 03-5275-0404
人間共生学部	多摩キャンパス（27ページ参照）	東京都多摩市唐木田 2 丁目 7 番地 1 教育支援・学事グループ tel. 042-372-9970

3. 試験当日の注意事項

(1) 持ち物

- ① 受験票、筆記用具を必ず持参してください。万一受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。
- ② 携帯電話等の通信機器は、試験場に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。試験時間中に時計として使用することはできません。

(2) 遅刻・欠席

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

集合時間に間に合わない場合（交通機関の事故、やむを得ず欠席する場合等）は、事前に上記の当日連絡先に必ず連絡してください。連絡がない場合は、本学から確認の電話をします。試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、面接時間を繰り下げることがあります。

(3) 入退出

入室から終了までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の退室・退場は認めません。

(4) 不正行為

以下の行為は不正行為となることがあります。

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ③ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ④ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑤ 受験者間で面接情報の交換をすること。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

(5) その他

生活騒音（自動車、風雨、空調音、くしゃみ等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

合格発表

- (1) 発表期間：令和8年12月18日（金）15時 ～ 12月24日（木）15時
- (2) 発表方法：Web を利用した合否照会システムにより行います。
- (3) 合格者は、合格者に案内する入学手続システムにアクセスし期日までに入学手続を完了させてください。
詳細は、入学手続システム内に掲載する「入学手続の手引」でご確認ください。
- (4) 注意事項
 - ・ 受験票を用意し、操作をしてください。
 - ・ 合否照会システムの誤操作等を理由とした入学手続期間の延長は認められません。
 - ・ 電話等による合否結果の問い合わせには応じません。
 - ・ 発表期間以外は利用することができません。

合否照会システム

〈操作ガイド〉 **【照会 URL】** <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>

照会にあたり、受験番号と誕生日が必要になります。事前に準備しておきましょう。

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

 誕生日

--	--	--	--



Webでの確認方法

※下図はイメージであり、実際の画面とは異なります。

- ① 照会 URL にアクセスする。



- ②「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。

- ③ 受験番号 9 けた(半角)と、誕生日 4 けた(半角)を入力する。

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号 (半角 9 けた)

○○○○○○○○○○

誕生月日 (半角 4 けた)

0000

※受験番号はハイフンを除いた9けた（半角）

※誕生日が2月8日の場合は『0208』（半角）

【合格発表】

- 4

〔合格〕

おめでとうございます。合格です。入学
 手続については、以下「入学手続システ
 ム」にログインし、

- ①「合格通知書」・「入学手続の手引」をダウンロードしてください。
- ②「入学手続の手引」を確認の上、期日内に入学手続および入学手続時納入金の納入をすすめてください。

〔不合格〕

残念ながら
不合格です。

〔欠席・棄権〕

欠席または試験の一部を受験していないため、残念ながら不合格です。

利用できる機器等について

1. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
2. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
3. パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

入学手続

納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。
入学手続時納入金に関するご質問は、広報・入試センター（千代田）へお問い合わせください。

1. 入学手続期間

令和8年12月19日（土）～ 12月24日（木）

2. 入学手続内容について

入学手続期間	入学手続システム	全員必須	①「合格通知書」をダウンロード（郵送はしません）
			②「入学手続の手引」をダウンロード（必ずすべての内容を確認してください）
			③学生証の顔写真および入学者・保証人の情報を登録
			④誓約書・保証書への同意登録
			⑤入学手続時納入金の納入手続
	郵送提出	該当者のみ	⑥大学等奨学生採用候補者決定通知のコピー等を提出 【高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金および授業料等の減免）利用者のみ】
			⑦在留カード（コピー）もしくは住民票の写し（原本）を提出 【外国籍の方のみ】

※入学手続期間内に①～⑦を完了していない場合は、棄権とみなします。

入学手続期間以降	郵送提出	全員必須	⑧卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書を提出
			⑨令和9年度入学手続者アンケートを提出
		該当者のみ	⑩新入生ガイダンス資料送付先住所等変更届を提出【該当者のみ】
			⑪学生証氏名文字変更希望票を提出【該当者のみ】

※⑧～⑪の提出期限・提出先は、「入学手続の手引」に記載します。

3. 入学手続システムについて

合否照会システムで、合格者にURLおよびログイン方法を案内します。

4. 納入金額について（共通ページ 令和9年度納入金）

入学する学部・学科・専攻・コースにより入学手続時納入金合計が異なります。共通ページの表を確認してください。

5. 入学辞退・納入金返還

入学手続時納入金を納入した方が、やむを得ない事情により入学を辞退する場合、本学所定の手続を令和9年3月31日（水）までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金を返還します。

よくあるご質問

- Q1 総合型選抜で合格した場合は、必ず入学しなければいけませんか？
- A1 総合型選抜（自己推薦型）Ⅱ期は本学が第一志望であることが出願要件の一つです。他大学を受験することは可能ですが、原則として本学総合型選抜（自己推薦型）Ⅱ期で合格した場合は、必ず入学していただきます。
- Q2 総合型選抜では、同時に複数の学科・専攻・コースへの出願はできますか？
- A2 総合型選抜では、同時に複数の学科・専攻・コースへの出願はできません。十分に検討し、第一志望の学科・専攻・コースを決めてから出願してください。
- Q3 総合型選抜の「選考において重視する項目」に私の活動が当てはまらないのですが、全く評価されないのですか？
- A3 特に重視するということですので、項目以外の活動が全く評価されないということではありません。出願書類や面接で、あなたが今まで頑張ってきたことや、その活動によって得たもの、入学後の学習目的や将来の計画などを、しっかりアピールしてください。「選考において重視する項目」について不明な点がありましたら、オープンキャンパスなどで本学の教員に相談してみてください。
- Q4 出願書類に修正液、修正テープを使用してもよいですか？
- A4 入学願書は、訂正箇所には二重線を引き、訂正印を押印のうえ書き直してください。それ以外については修正液、修正テープを使用しても構いません。
- Q5 出願書類提出日や面接日が早い・遅いかで、有利・不利がありますか？
- A5 有利・不利はありませんが、出願書類の作成や、調査書などの必要書類の準備、書類の送付にかかる日数を考えて、早めに準備を進めてください。
- Q6 総合型選抜（自己推薦型）の面接は、学校推薦型選抜の面接とどう違うのですか？
- A6 総合型選抜（自己推薦型）では、面接を特に重視しています。自己推薦型は、より長い時間（自己推薦型は30分程度）をかけて本学の教員2人以上と個人面接を行います。
- Q7 英語や国語の資格・検定試験を取得していることによるメリットはありますか？
- A7 一部の学科・専攻・コースにおいては「選考において重視する項目」（1ページ以降）で指定されている英語や国語の資格・検定試験のスコアを取得している場合、総合判定の一要素とします。さらに、文学部英語英文学科では総合型選抜キャリア計画書の一部（「各学科・専攻・コースからの課題」）への取り組みを免除します。

受験時の宿泊案内

参考として以下の宿泊施設を紹介します。予約をする際は、直接お申し込みください。

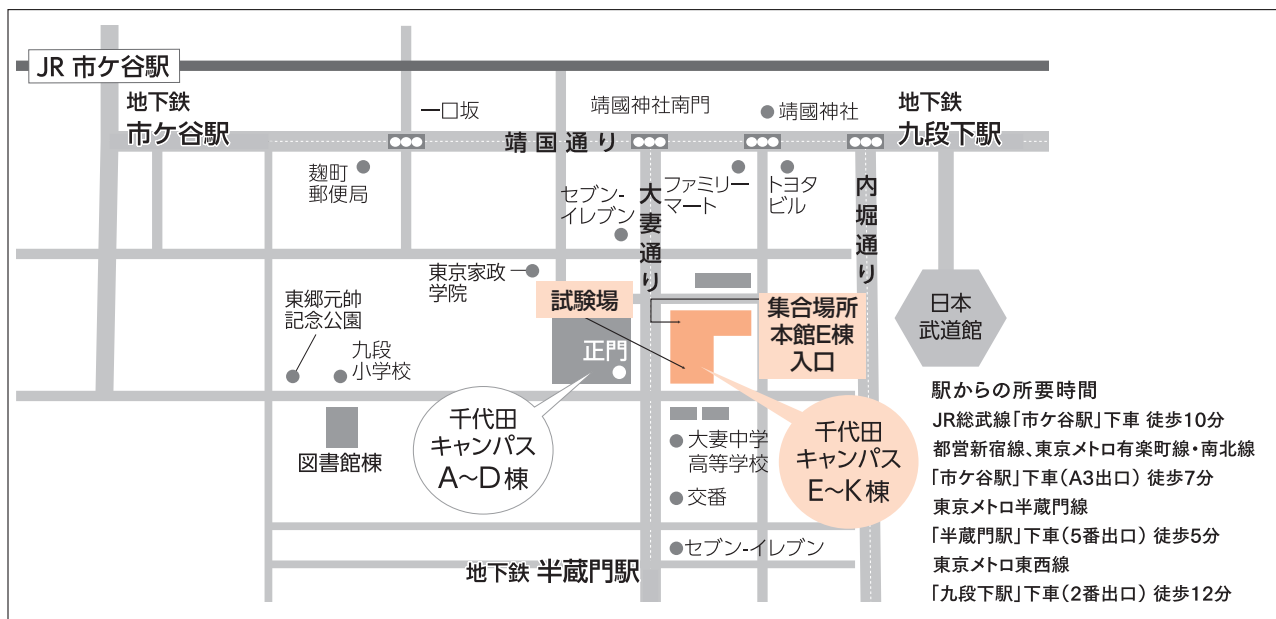
〈千代田キャンパス〉

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

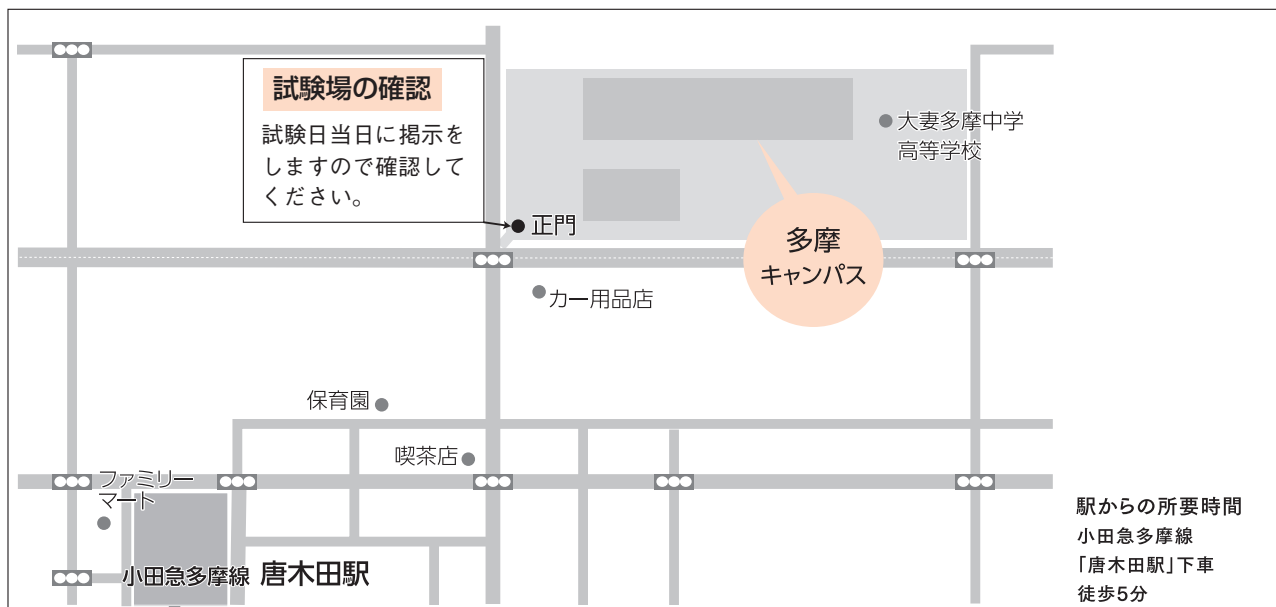
アルカディア市ヶ谷（私学会館） tel. 03-3261-9921（代）

キャンパス案内（試験場）

千代田キャンパス 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部



多摩キャンパス 人間共生学部



問い合わせ先

受付時間 千代田：平日 8：30～16：40 土曜日 8：30～13：10
多摩：平日 8：50～17：00 土曜日 8：50～13：30

内容	部署名	tel.
入試全般 入学手続	広報・入試センター（千代田） 教育支援・学事グループ（多摩）	03-5275-0404 042-372-9970
授業内容等	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 データサイエンス学部 短期大学部	教育支援グループ（千代田） 03-5275-6061
	人間共生学部	教育支援・学事グループ（多摩） 042-372-9988
奨学金	学生支援グループ（千代田）	03-5275-6071
入学後の授業料等	財務グループ（千代田）	03-5275-6031

千代田キャンパス 〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地
多摩キャンパス 〒206-8540 東京都多摩市唐木田 2 丁目 7 番地 1